

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

最近の高病原性鳥インフルエンザをめぐる情勢 (平成29年度高病原性鳥インフルエンザ防疫対策強化推進会議から)

平成28年度の国内での高病原性鳥インフルエンザの発生については、9道県、12家きん飼養農場で確認され、約165万羽が殺処分されました。高病原性鳥インフルエンザを発生させないために、発生予防対策と最新の高病原性鳥インフルエンザの情報について紹介します。

人や物を介したウイルスの侵入を防ぐことはもちろん、野生動物が隠れることのできる場所や侵入経路を塞ぐことも重要です。例えば、農場内の野鳥が止まりやすい木の伐採や、池へのテグスの張付、石灰散布による視覚的忌避効果が有効とされています。

周辺国では継続的に高病原性鳥インフルエンザが発生しており、特に中国各地では、H5N6亜型だけでなく、H7N9亜型の発生も確認されています。これまで、H7N9亜型のウイルスは人での高致死性で注目されていましたが、鶏での病原性は高くありませんでした。しかし、平成28年11月に鶏に対する高病原性株が出現し、家きん飼養農場での被害が増加しています。H7N9亜型ウイルスも日本に侵入する可能性があり、人のみならず、家きんに対しての感染が危惧されています。

今年もすでに国内の死亡野鳥から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）が検出されているため、厳重な警戒をお願いします。

なお、高病原性鳥インフルエンザに関する情報については、農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に随時更新していますので、ご活用ください。

どのような家畜伝染病についても「発生予防」、「早期発見・早期通報」、「発生時の迅速・的確な初動対応」に重点を置き、今後も、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いします。

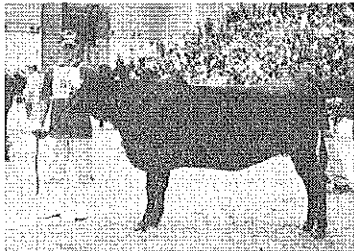
疾病情報

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況(近県)

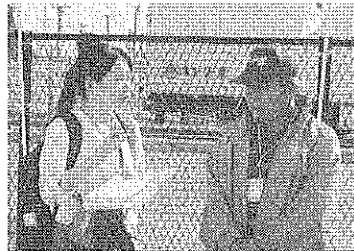
疾 病 名	畜 種	発 生 場 所	発 生 時 期	発 生 戸 数	発 生 頭 羽 群 数
ヨ ー ネ 病 (法 定)	牛	岡山県	H29.9月	1	1
牛 白 血 病 (届 出)	牛	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県、島根県 山口県、愛媛県、徳島県、香川県	H29.7月～9月	67	69
牛ウイルス性下痢・粘膜病(届出)	牛	兵庫県、香川県	H29.7月	2	2
破 傷 風 (届 出)	牛	島根県	H29.7月	1	1
豚 丹 毒 (届 出)	豚	広島県、愛媛県、徳島県 高知県、香川県	H29.7月～9月	16	24
豚繁殖・呼吸障害症候群(届出)	豚	岡山県	H29.7月	1	1
サルモネラ症(届出)	豚	島根県	H29.7月～8月	3	12
伝染性気管支炎(届出)	鶏	兵庫県、山口県	H29.7月～8月	2	17
ロイコチトゾーン病(届出)	鶏	岡山県	H29.9月	1	3
鶏 痘	鶏	香川県	H29.8月	1	3
アカリダニ症(届出)	蜜蜂	兵庫県、島根県	H29.7月～8月	2	2

讃岐牛・オリーブ牛が大健闘！！ (第11回全国和牛能力共進会から)

全国の優秀な和牛を5年に一度、一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う「第11回全国和牛能力共進会」が平成29年9月7日(木)～11日(月)に宮城県で開催されました。本県からは第3区(若雌の2)に塩田薫氏が育成した雌牛1頭、第9区(去勢肥育牛)に竹内登氏、塩田清勝氏が肥育した去勢牛2頭を出品し、全ての出品牛が1等賞を受賞しました。さらに塩田清勝氏は特別賞(脂肪の質賞:牛肉の美味しさに関連する一価不飽和脂肪酸含有率が肥育牛183頭の頂点)を受賞し、オリーブ牛の優れた品質の高さを全国に知っていただくことができました。41万7,000人が来場した本大会は、オリーブ牛の試食会も行われ大いににぎわいました。



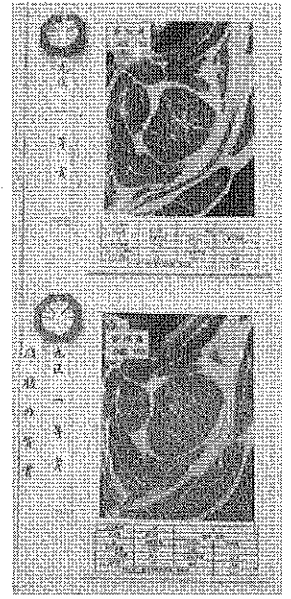
第3区審査風景
塩田薫氏とおれんじ号



特別賞を受賞し取材を受ける塩田清勝氏



オリーブ牛の試食ブース



第9区枝肉写真
上段:竹内 登氏
下段:塩田清勝氏

香川県内のイノシシとシカの病原体保有状況 (平成28年度野生獣衛生体制整備緊急対策事業の結果から)

昨年度、屋島及び小豆島で捕獲した野生イノシシとシカ(各15頭)に対して、家畜と共通する病原体の感染状況調査を実施したので、その結果をお知らせします。

病原体	(陽性頭数/検査頭数)
豚丹毒菌	イノシシ抗体(15/15)
トキソプラズマ原虫	イノシシ抗体(2/15)
E型肝炎ウイルス	イノシシ抗体(0/15)、シカ抗体(1/15)
SFTSウイルス	イノシシ抗体(1/15)、シカ抗体(0/15)
オーエスキー病ウイルス	イノシシ抗体(0/15)
豚流行性下痢ウイルス	イノシシ抗体(0/15)
BVDウイルス	シカ遺伝子(0/15)

イノシシは、豚丹毒菌の抗体を全ての個体が、トキソプラズマ原虫の抗体を13%の個体が保有していました。これは、病原体に感染したことを示しており、イノシシが豚への感染源になる恐れがあるとともに、これらの病原体は人獣共通感染症でもあるので、イノシシにむやみに近づかないよう気をつける必要があります。シカについては、E型肝炎ウイルスの抗体が1頭から検出されました。このウイルスは家畜に明らかな症状は示しませんが、人に感染すると肝炎を引き起こすことが知られています。

また、家畜に感染したという報告は国内ではありませんが、近年人が感染して重症化することで注目されているマダニ媒介性の重症熱性血小板減少症(SFTS)ウイルスの抗体もイノシシ1頭から検出されました。

家畜に野生動物が接触しないように、畜舎周辺的环境整備等飼養衛生管理をお願いします。

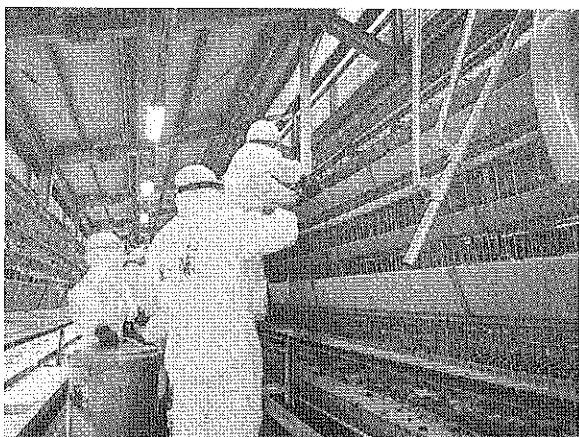
平成29年度香川県家畜防疫演習を開催しました

近隣諸国では高病原性鳥インフルエンザなどの法定伝染病の発生が続いています。

香川県では、有事の際に素早く防疫作業に取り掛かれるよう、毎年、高病原性鳥インフルエンザの発生が懸念される冬場を前に、防疫演習を行っています。

今年は、鶏の殺処分を想定した捕獲・搬出訓練と消毒ポイントでの車両消毒訓練などを中心に、10月20日、27日に実施しました。

毎年、防疫演習を実施し、万が一の事態に備えていますが、発生させない事が一番ですので、皆様も消毒の徹底や家畜の健康管理など、飼養衛生管理基準の遵守により伝染病の発生予防に備えてください。



捕獲・搬出訓練



消毒ポイントでの車両消毒訓練

飼料の誤用防止の徹底について

平成29年9月、飼料運送業者が農家へ配合飼料を納入する際、抗菌性飼料添加物を含有する幼すう用飼料が採卵鶏用飼料のタンクに誤って投入され、給与されるという事案が発生しました。

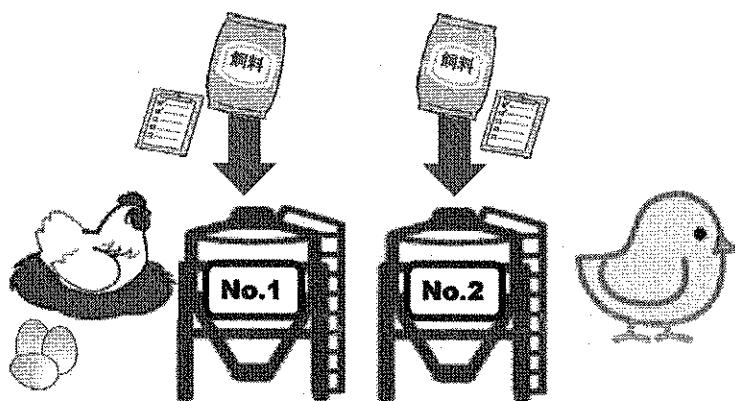
産卵中の鶏やうずら、搾乳中の牛は、出荷前7日間の家畜等に抗菌性飼料添加物を含有した飼料を給与した場合、飼料安全法違反になるとともに、生産された畜産物等が食品衛生法違反となる恐れがあります。

つきましては、飼料の誤用防止のため、下記についてご注意ください。

①飼料タンクには、識別可能な番号・記号を明記しましょう。

②飼料運送業者の納品作業に極力立ち会い、お互いに確認しましょう。

(特に、複数銘柄を同時に注文したときは、それぞれが正しいタンクに投入されていることを確認しましょう。)



新人だより

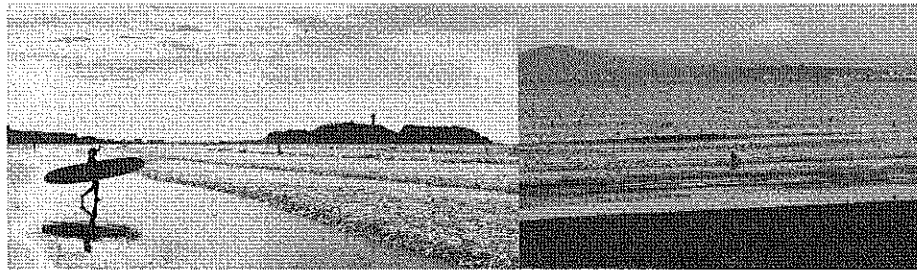
こんにちは。平成29年度に採用され、畜産試験場に配属となった増川慶大（ますかわ けいた）と申します。今回、新人だよりを書く機会をいただいたので、簡単な自己紹介をします。

私は、神奈川県藤沢市にある日本大学に進学し、そこで6年間、大学生活を堪能しました。

藤沢市には、観光スポットで有名な「湘南の江の島」があります。また、そこに隣接して鎌倉や茅ヶ崎といった有名な海も見られます。私も友人たちとよく出かけてはレジャーを楽しんだものです。これら湘南の海での思い出が、今となっては、学生時代の私のよい思い出のひとつとなっています。

そして今年度の3月末に大学を卒業して、久しぶりに生まれ故郷に帰ってきました。香川県には、日本のエーゲ海とも称えられる美しい瀬戸内海とそこに浮かぶ島々があります。県外にしばらく出て、帰ってきたことで改めて瀬戸内海の魅力に気づかされました。そこで今度は、今まで触れてこなかった故郷の美しい海とそこの島々に少しずつ、慣れ親しんでいこうと考えています。

最後に、これからの抱負を述べます。畜産業とは個人的に縁があり、日々、畜産関係の業務に従事できていることを嬉しく思います。それゆえ1日でも早く皆様の役に立てるように勉強して参ります。また、皆様から様々なご教示をいただければ幸いです。これから先、どうぞよろしくお願ひします。



学生時代によく出かけた江の島（左写真）と、そこから見える富士山（右写真）

<お知らせ>

○第10回畜産フェアの開催

12月9日(土)、10日(日) サンポート高松

「オリーブ」の恵みで生まれた香川生まれのおいしい農水畜産物が出品されます。

○家畜商講習会の開催

平成30年1月22日(月)、23日(火) 香川県庁北館401会議室

申込書配布先(12月初旬)：各市町、各農業改良普及センター、各家畜保健衛生所、
香川県家畜商協会、JA香川県、その他県内畜産関係団体

○第35回全農酪農体験発表会の結果について

9月22日(金)、東京都港区でJA全農主催の「全農酪農経営体験発表会」が開催されました。「都府県の大規模酪農家の耕畜連携のモデルになる」を発表した本県の赤松牧場が、最優秀の農林水産大臣賞を受賞しました。

○牛の採卵についての注意事項(香川県畜産試験場から)

採卵を希望する方は、以下の供卵牛検査を受けてください(申込み機関)。

- ・香川県告示に基づくヨウネ病、結核病の検査(家畜保健衛生所)
- ・親子判定のための遺伝子型検査(JA香川県畜産振興センター)